Information

2026 年 11 月 17 日
株式会社博報堂ＤＹホールディングス

【新刊発売のご案内】

ハードチョイス
AI 時代を生き抜く経営者・リーダーのための 59 の問い
著：森 正弥

株式会社博報堂ＤＹホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：西山泰央、以下 博報堂ＤＹホールディングス）の執行役員 CAIO であり、AI 先端研究開発機関「Human-Centered AI Institute（以下 HCAI）」代表 森 正弥が、このたび『ハードチョイス　AI 時代を生き抜く経営者・リーダーのための 59 の問い』を出版しましたのでお知らせいたします。

本書は、AI が進化する時代において経営者やリーダーが直面する悩みを Q&A 形式の「問い」を通じて考察した一冊です。「AI が進化するほど、社員から面白いアイデアが出てこなくなった気がします。これは思い過ごしですか？」「『AI 推進派』と『AI 慎重派』――社内で二分しています。経営者として、どちらを進めればいいですか？」「AI で、『指示を出す』『情報を集める』が要らなくなった中間管理職。彼らに残る仕事は、何ですか？」など、経営者・リーダーが向き合うべき 59 の問いに対し、読者が自らの「Aspiration（志）」と向き合い、組織の迷いを断ち切るためのヒントを提供します。

本書の根底にあるのは、「人間中心の AI（Human-Centered AI）」です。博報堂ＤＹグループが掲げるこの考え方は、AI を単なる効率化の道具ではなく、人間の創造力を引き出すパートナーとして位置付けます。そして「人間中心の AI」をビジネスの現場に実装するにあたり、不可欠な視点が「3 つの A」、すなわち業務を効率化する「Automation（自動化）」、人間の能力を拡張する「Augmentation（拡張）」、そして AI とともに抱く大志「Aspiration（願望・志）」です。

AI 活用が進む一方、多くの企業は自社の強みが失われる「同質化」の課題に直面しています。この課題を打破する一手となるのが、企業がどうなりたいか、個人が何を成し遂げたいかという強い意志「Aspiration（志）」です。AI 技術がいかに進化しようとも、経営者・リーダーが AI によって露わになった「不都合な真実」を受け止め、覚悟をもって選び取り、新しい機会へと飛ぶことが AI 時代を生き抜く鍵となります。



ハードチョイス
AI 時代を生き抜く経営者・リーダーのための 59 の問い
著者：森 正弥
仕様：四六判軽装　336 ページ
価格：紙版 2,530 円（税込）　電子版 2,400 円（税込）
発行：株式会社 文藝春秋
発売日：2026 年 11 月 17 日（火）
リンク：https://amzn.asia/d/0f7uXJ42

目次

はじめに
序章　AI と、どう付き合うか
第 1 章　不都合な真実：AI で何が起きているか――「知る」
終わりなき競争／効率化の陰で、生産性が下がる？／変化の速度に、経営が追いつかない
「人間が決める」時代へ／同質化を越えて
【対談】島田太郎（東芝 代表取締役 社長執行役員 CEO）×森正弥
――AI ブームの実像と、本当の「強み」
第 2 章　選択と統合：ハードチョイスの 5 段階――「選ぶ」
何のためにあるのか（志）／どこで戦うのか（領域の選択）／どう価値をつくり届けるか／
人と組織をどう育てるか／仕組みを整える
【対談】玉置肇（パナソニック ホールディングス 代表取締役副社長 執行役員）×森正弥
――理念と覚悟の大切さ、決断の重み
第 3 章　生活者とエコシステム：競争を超えた経営――「飛ぶ」
生活者の視点に立つ／新しいあたりまえ／仲間を見つける／私から私たちへ／次世代に向けて
【対談】出口康夫（京都大学人と社会の未来研究院特定教授）×森正弥
――AI と人間、これからの経営を考える
終章　問いの先へ
進むために／読者自身への問い
終わりに／謝辞／参考資料・図版資料

【本件に関するお問い合わせ】
株式会社博報堂ＤＹホールディングス　グループ広報・ＩＲ室 山崎・白川・塚田 koho.mail@hakuhodo.co.jp